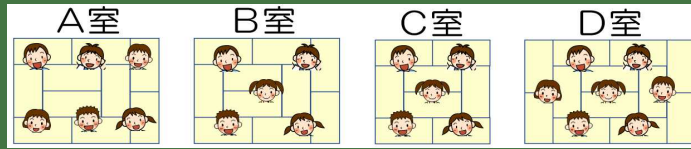


題材： 小学校第5学年算数科(啓林館)『単位量あたりの大きさ』

【導入段階】 学習問題を提示して、その解答を教師が伝える

学習問題

Q: A~D室で、密になっている順番は?



	A室	B室	C室	D室
たたみの数(まい)	10	10	8	12
子どもの数(人)	6	5	5	7

密になっている順番は… **C室 → A室 → D室 → B室** です。

どうして、たたみや子どもの数の条件が違うのに、その順番になるかについて今日は考えていきましょう!

【めあて】

なぜ、部屋の条件がちがうのに「C室 → A室 → D室 → B室」の順に密になっていると言えるのだろうか?

【展開段階】 個人→グループで最適解・納得解を導く中で、「単位量」の概念に気付かせていく

①個人での思考



A室とB室では、たたみの数が同じだから比較しやすいなあ



B室とC室では、子どもの数は同じで、C室の方がたたみの数が少ないから密だよなあ



A室とD室では、なぜA室の方が密なんだろう? A室は子ども1人で、たたみ1.6まいくらい使えそだなあ…

※ 付箋紙やタブレット端末等への記入も効果的

③各班の考えを全体で協議

(共通項+追加項+異なる考え)

全ての班の考えをまとめると…

※ 全体で協議する際の留意点については 6/17中部教育事務所学力向上研修会: 演習プレゼン参照

④協議を経てまとめる

家庭学習を想定して、具体的にまとめる

【まとめ】

- ◎ 条件がちがう部屋が「C室→A室→D室→B室」の順で密になっていると言えるのは、
 - 1人で使えるたたみのまい数
 - 1まいのたたみを使える人数
 で比較したからである
- ◎ 1人で使えるたたみの枚数
 - ①「子ども1人あたりのたたみのまい数」
1まいのたたみを使える人数
 - ②「たたみ1まいあたりの子どもの人数」
- ◎ 条件がちがう時には①②のような「単位量あたりの大きさ」で比較する

②協働的な学び

各班の**最適解・納得解**

- 密になっているかを考える時には、
- 1人が使えるたたみの数で比較する
 - 式は「たたみの数÷子どもの数」
 - 1人で使えるたたみの数が少ないほど、密であるよって「C室→A室→D室→B室」の順で密である

つまり

例えば

1人が使えるたたみの数で考える + B室は $10 \div 5 = 2$ + 他の部屋も同じ計算で
 1人2枚たたみ + A室: $10 \div 6 = 1.66$
 を使える C室: $8 \div 5 = 1.6$
 D室: $12 \div 7 = 1.71$



【終末段階】 本時学習内容の定着&発展的な課題の提示で習熟を図る

レベル① 「基本的な学習内容の習熟」の場合

Aノートは10さつで1200円、Bノートは5さつで800円です。ノート1さつあたりの値段は、どちらが安いのか?

レベル② 「実社会・実生活での活用をイメージした」場合



広告でよく見るけれど、どういう意味でしょう?

